

氏名	黒澤 恭子	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	公衆衛生看護学 地域看護学				
学位	修士（公衆衛生学）				
学歴	2010年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科、2024年帝京大学公衆衛生学研究科公衆衛生学専攻博士前期課程				
経歴	2024年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会 日本公衆衛生看護学会 日本地域看護学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	中学校の体育的部活動に着目した障害事例の検討 - 学校等事故事例検索データベースを用いた分析	共著	あり		子ども教職研究8巻 P3-9	○関美雪, 上原美子, 佐藤玲子, 石崎順子, 柴田亜希, 伊草綾香, 丹野祐美, 黒澤恭子, 菊池宏	2025.3
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	乳幼児を持つ父親のワーク・ライフ・バランスに関連する要因の検討	共同	第71回日本小児保健協会学術集会・北海道札幌		○関美雪, 柴田亜希, 石崎順子, 丹野祐美, 伊草綾香, 黒澤恭子	2024.6	
2	COVID-19の影響下における保健師学生の卒業時の到達度による教育評価 ー地域の健康課題の明確化と計画・立案する能力に着目してー	共同	日本地域看護学会第27回学術集会・宮城県仙台市		○柴田亜希, 石崎順子, 丹野祐美, 伊草綾香, 関美雪, 服部真理子, 黒澤恭子	2024.6	
3	第1子の乳児を育てる父親のワーク・エンゲイジメントと仕事の資源との関連	共同	日本地域看護学会第27回学術集会・宮城県仙台市		○関美雪, 柴田亜希, 石崎順子, 伊草綾香, 丹野祐美, 黒澤恭子	2024.6	
4	保健師として就業している卒業生のネットワーク構築をめざしたキャリア支援の実践	共同	第13回日本公衆衛生看護学会学術集会・愛知県名古屋市		○柴田亜希, 菊池宏, 丹野祐美, 伊草綾香, 黒澤恭子, 関美雪, 石崎順子, 服部真理子	2025.1	
5	中学校の体育的部活動に着目した障害事例の検討 - 学校等事故事例検索データベースを用いた分析 -	共同	第13回日本公衆衛生看護学会学術集会・愛知県名古屋市		○関美雪, 上原美子, 柴田亜希, 石崎順子, 伊草綾香, 丹野祐美, 黒澤恭子, 菊池宏	2025.1	
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	該当なし						
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	公衆衛生看護展開論Ⅱ	○	8	精神保健の地域における保健師の活動について、法的根拠や近年の社会動向、事件等を教材にして理解できるよう工夫し教授した。			
2	公衆衛生看護展開論Ⅲ	○	8	成人・高齢者保健の動向と地域における保健師の健康づくり活動と、難病保健活動における保健師の役割について事例をもとに理解できるように工夫し教授した。			

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	IPW演習		16	IPW演習の目的に沿って、所属の異なる学生が、意見を出し合い、葛藤を経てチーム形成していく過程を支援した。事例についてディスカッションする際に学習支援を行った。
2	地域看護学Ⅲ	○	16	在宅看護における看護過程の特徴と展開の方法について、事例の情報からアセスメントと看護課題の検討までの演習を行った。
3	地区診断論		9	健康課題を明確化するために、実習地を事例としたデータを用いた演習を行い、公衆衛生看護学実習の実践につながるよう工夫した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	公衆衛生実習		2024.5～2024.6	公衆衛生看護の活動の特徴と保健師の支援方法の理解が深まるよう指導した。
2	総合実習		2024.7	地区診断を踏まえた保健師活動の企画実施評価までのプロセスの学習と公衆衛生看護活動における保健師の役割の理解を深めた。
3	IPW実習		2024.8	IPW実習の目的に沿って、所属の異なる学生が、意見を出し合い、ディスカッションできるよう学習支援を行った。
4	地域看護学実習		2024.10～2024.12	訪問看護師の役割の理解や、地域包括支援センターの役割について理解につながる課題を提示しディスカッションを行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主指導	副指導
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	オープンカレッジ 卒業生等支援講座「卒業生保健師勉強会」	地域看護学領域	保健師としての知識やスキルアップを目指した勉強会を3回開催した。 ①みんなで考えよう児童虐待 ②リエイブルメント～本人が決める目標と意欲を引き出す動機づけ面談～ ③学校と教師の特別支援教育の実践に学ぶ発達支援の観点	2024.7 2024.10 2025.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	大学広報活動	オープンキャンパス	2024.8
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		